

平成22年度 公共事業再評価調書

基準年月日 平成22年8月1日

Table with 4 columns: 調書番号 (09-08), 所管部 (建設部), 作成責任者 (建設部土木局河川課長 久野 顕), 担当グループ (計画G(内)29-323)

I 基本事項 (基準日時点)

Main project details table including 事業種別 (河川総合流域防災事業費), 事業費 (3,600 million), 事業概要 (石狩川旧川部合流点から上流3.7km), and 工事費内訳 (Total 2,169 million).

II 計画変更

Table showing 事業期間 (Initial H13, Change 1 H22, Change 2 H29) and 事業費 (Total 3,600, Road 1,200, Current 477, Accumulated 2,084, Progress 58%).

変更理由・内容: 変更①: 事業費の増 ~ JR橋架替に伴う仮設工(仮線区間における踏切等)の増などによる。事業期間の延伸 ~ JR橋の仮線箇所への補償物件及び借地に時間を要したことや、JR橋の施工に時間を要していることなどによる。(札幌~旭川間の主要路線。H15設計着手、H25工事完了予定)

III 事業着手前の状況

Table with 2 columns: 1. 事業着手に至る経過と背景 (Flood damage in 2015), 2. 事業検討の際の経緯 (Project review in 2014), 3. 事業が効果を及ぼす地域・対象 (Target areas in 2013).

Table for 4. 関連する事業 (Related projects) with columns: 事業名, 事業主体, 事業期間, 事業費, 事業内容.

IV 事業の実施状況

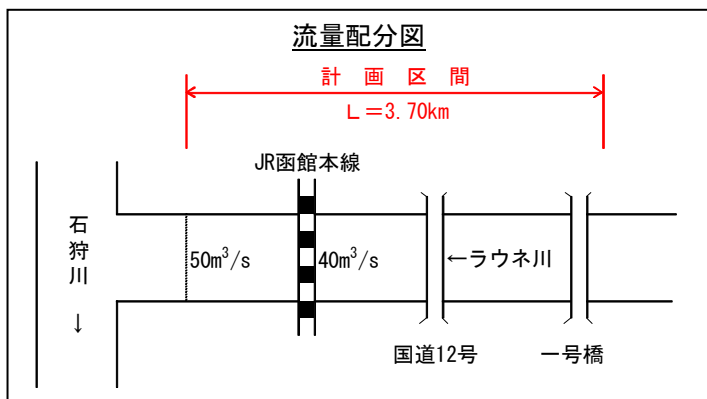
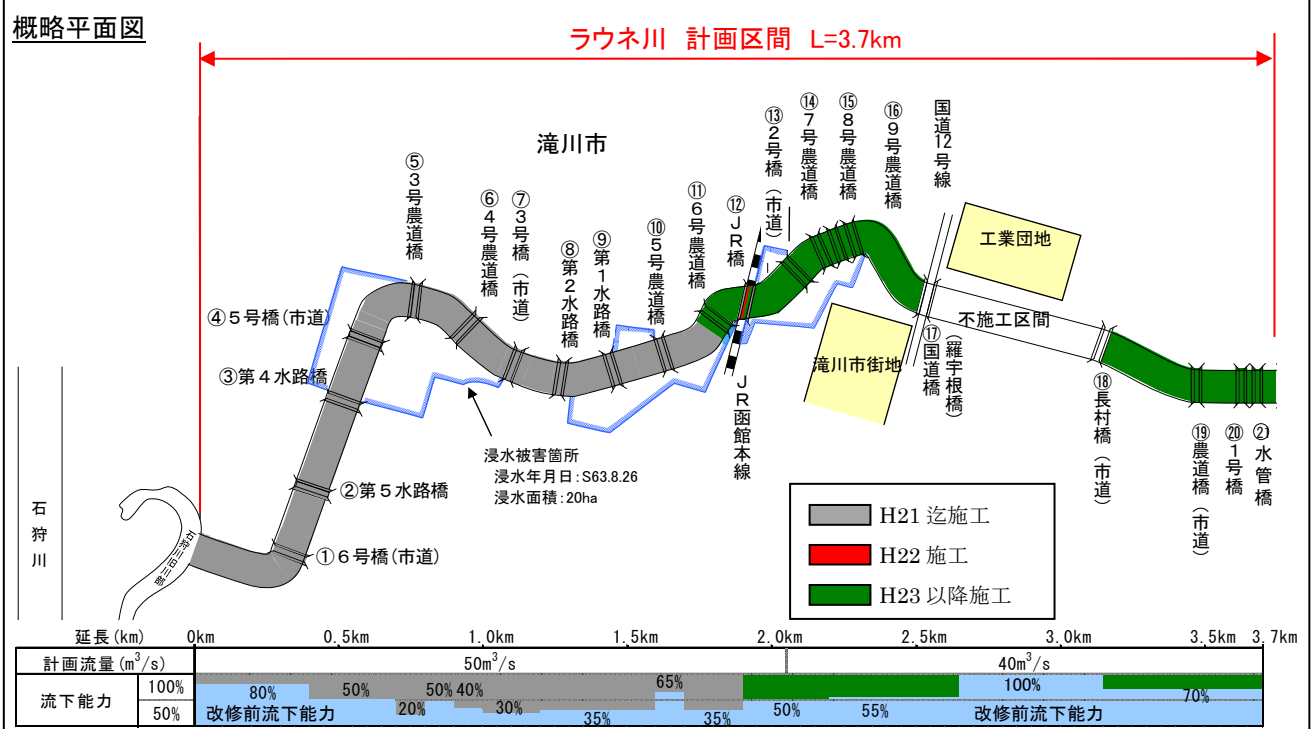
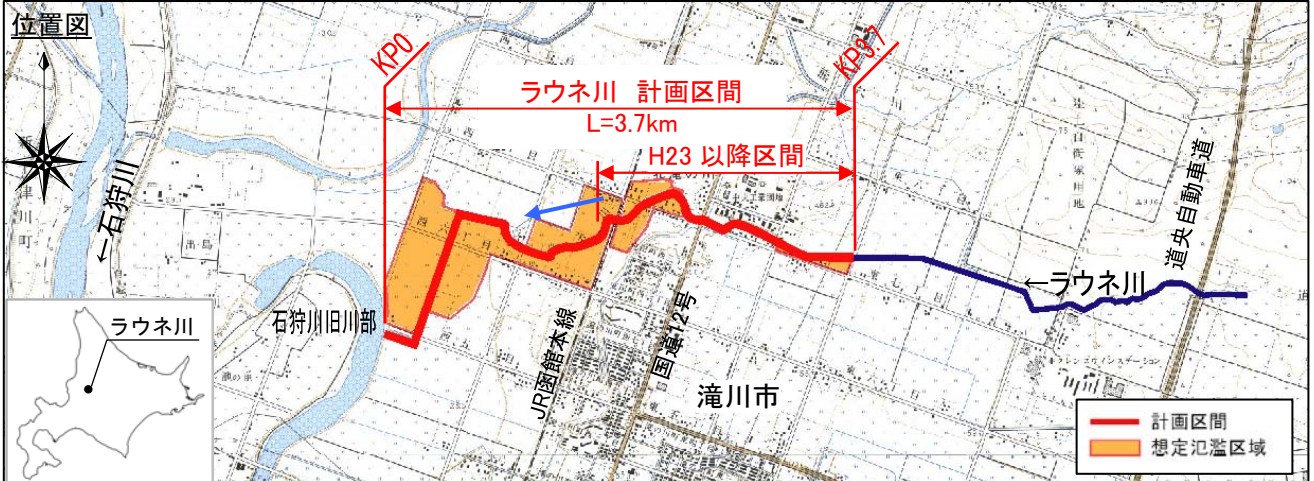
Table for 1. 進捗状況 (Progress status) showing a Gantt chart for construction items like 築堤工, 掘削工, 附帯工事, etc., with progress percentages and costs.

(2) 進捗状況: H21年までに5号農道橋より下流区間の整備を完了。JR橋の架替に時間を要していることなどにより、事業の進捗に遅れは見られるものの、今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはない。

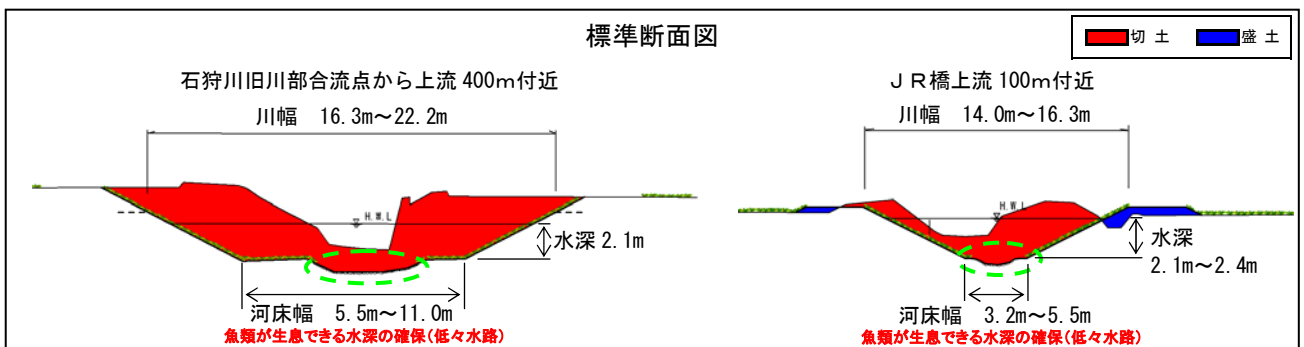
b a: 概ね予定どおり実施している b: 若干の遅れは見られるものの対処可能である c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている

	経済効果の内訳			費用の内訳			B/C		備考	
	項目	計画当初	H22現在	項目	計画当初	H22現在	計画当初	H22現在		
2.経済効果	洪水被害防止効果	-	4,536	建設費	-	3,782	/	/	○金額は百万円 ○「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省H17)に基づき算出 ○効果及び費用は、「整備期間+完了後50年間」で算出 ○効果及び費用は、H22に現在価値化した値 ○費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。	
				維持管理費	-	23				
	合計(B)	-	4,536	合計(C)	-	3,805				-
3.コスト縮減などの取組み	取組の項目		取組内容					縮減額		
	計画・設計の最適化		市道隣接箇所の管理用通路幅の見直し(3m→1m)					2百万円		
	施工の最適化		工事により発生したコンクリート殻をかごマットの中詰め材へ再利用					9百万円		
V 評価										
1.必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業は、滝川市の市街地及び農地の洪水被害を防止するためのもの。 ● 事業着手後もH13年9月(農地1ha)に浸水被害が発生。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。 									
	a	a : 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する b : 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である c : 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある								
2.事業を推進する上での課題	(1) 道政課題(ほっかいどう社会資本整備の重点化方針)での位置付け									
	施策優先度	A	施策名	洪水や土砂災害に備えた安全性の高い災害防止施設の整備		事業ウツ	2	事業優先度	II	
			全道優先度	A	地方優先度	なし				
	ほっかいどう社会資本整備の重点化方針において、事業優先度は【II】に位置付けされていることから、引き続き予算の総枠との調整を図った上で、事業の推進を図る。									
	(2) 環境上の配慮及び課題									
<ul style="list-style-type: none"> ● 落差工に魚道を設け、河床の縦断的な連続性を確保することにより、魚類などの移動に配慮する。 ● 低々水路を設け、魚類が生息できる水深を確保している。 										
(3) 事業推進に対する住民の動向										
<ul style="list-style-type: none"> ● 滝川市から事業の早期完成に向けての要望が出されている。 										
(4) その他の課題										
<ul style="list-style-type: none"> ● 特になし 										
3.事業達成の見込み	JR橋の架替えに時間を要していることなどにより、事業期間の延伸が必要となったものの、今後の事業実施にあたっては、特に支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。。									
	a	a : 十分達成が見込まれる b : 課題はあるものの達成は可能である c : 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される								
4.対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、H29年度の完成を目指し、事業継続する。									
	a1	a : 継続 (a1 : 変更なし a2 : 変更あり) b : 終了 c : 休止 d : 中止								
VI 備考										
1.評価履歴	事前評価 :		年度実施	評価結果 :						
	再評価 :		年度実施	評価結果 :						
2.その他の取組み事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 特になし 									

事業名	河川総合流域防災事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	ラウネ川	採択年度	H13
-----	------------------------------	-----	------	------	-----



計画諸元	
流域面積	6.19 km ²
計画延長	3.70 km
氾濫面積	70 ha
計画雨量	39.05 mm/hr
計画高水流量	50 m ³ /s
計画勾配	1/490~1/120



事業概要図（河川事業^{*}）の概略平面図の解説

※調書番号09-02~09-11の地区が対象

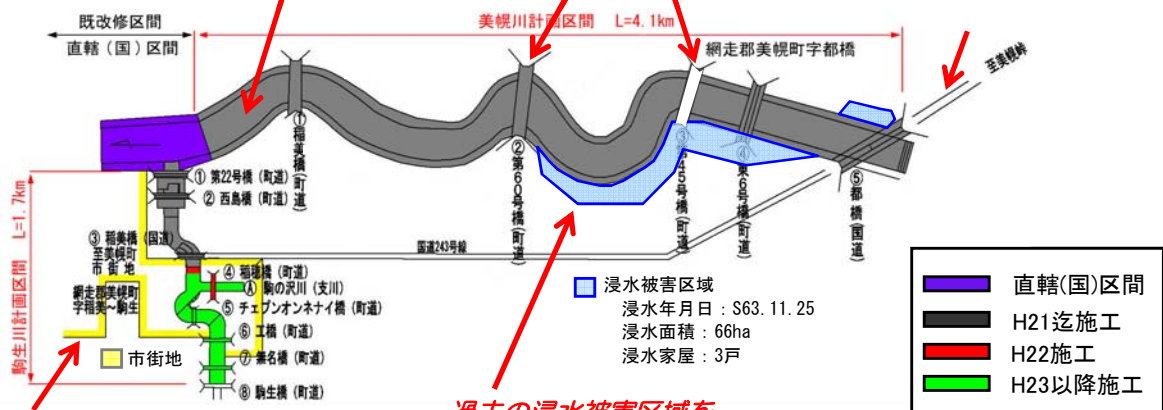
図の解説を赤字斜体文字で表示しています。

概略平面図

橋梁を示しています。なお、着色していない橋梁は、当該事業で架け替えを行わない橋梁です。
(統廃合等により改修後に存置しなくなる橋梁を含む。)

河川を示しています。
(図の左が下流、右が上流)

道路を示しています。



市街地(集落)の範囲を示しています。

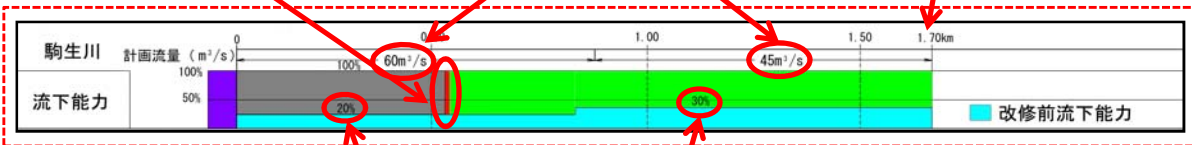
過去の浸水被害区域を示しています。

図の着色の凡例を示しています。
(下図の着色も同様)

計画(改修後)の流量(流下能力)を示しています。

H22の施工により、流下能力が20%(18m³/s)から100%(60m³/s)になることを示しています。

距離を示しています。



改修前の流量(改修前流下能力)を計画の流量に対する割合(%)で示しています。

※この図の左側の場合、計画流量60m³/sに対し、改修前の流量(流下能力)は60m³/s×20%=18m³/sとなります。

この略図は、河川で流すことのできる洪水の量(流量)を模式的に示したものです。